



ICT教材導入にあたり よくあるご質問やご要望 にお答えします

↓詳細チェック↓

01

スタディサプリを導入することで運用負担が増えるのでは？
手間の意味でも、おカネの意味でも気になります。

02

スタディサプリ利用料の分、今までより授業料を上げることになると、生徒や保護者からネガティブな反応をされないか心配です。

03

現在の運営スタイルは大きく変えたくありません。
今のスタイルを維持しつつ導入できませんか？

04

ICT教材を生徒や保護者が受け入れてくれるのか不安…
保護者への説明はどのようにしたらいいでしょうか？

05

ICT教材を導入した活用イメージがわからない…。
実際にICT教材を導入した活用事例を知りたい！

06

オンライン授業って本当にうまくいくのでしょうか？
“生の人間がやる授業”にこだわりたいんですよね。

07

教えるのが好きなので、スタディサプリを入れることでモチベーションが下がってしまわないか心配です…。

08

すでに導入している学習系のICT教材があるのですが、
それらとの違いがイマイチ分かりません。

01



スタディサプリを導入することで運用負担が増えるのでは？
手間の意味でも、おカネの意味でも気になります。

導入済みの多くの塾から、「導入前よりも日々の運用負担を軽減できた」という声が。コストもそれぞれのやり方で抑えているようです。



1)運用の手間が掛からないで済むとは？ 事例紹介

今夏よりスタディサプリをICT教材として初めて導入された、郡山俊英スクール（福島県郡山市）の橋本先生に伺いました。

——スタディサプリ導入前、運営のためにどのような作業を、どのくらいの時間掛けてやっていたか？

「生徒一人ひとりの学習進捗を把握するために、各人の学習進捗を講師がチェック。そして生徒ごとに第何回まで終わったか、シールを貼ってオリジナルの一覧表を作成していました。いつも全員分やりきるのに1週間は掛かっていましたよ。やり方は違えど、どこの塾さんも似たような状況可視化のための作業はあって、皆さん苦労されているポイントだと思います」

——スタディサプリ導入後、どう変わりましたか？

「スタディサプリを入れてからは管理画面で一発でわかるので、一覧表を作る作業が完全になくなりました。1週間掛かっていた作業がゼロになった訳です。学習時間や正答率も全て可視化されるので、運用の手間は本当に削減できました」

——パソコンが得意な先生に偏るとか、そういったことは無いですか？

「無いですね。むしろシール表の運用の時のほうが、細かい作業が得意な先生に偏りがちなところがあったんですが、今はスタディサプリの管理画面を講師が皆一様に、効率的に使っています。感覚で操作できるので、ITの知識は特に関係ないですね」

——お話、ありがとうございました。

▼郡山俊英スクール様の例
負担の高かった生徒の学習進捗の管理が、スタディサプリを入れることで容易になった点に注目！

Before

ICT教材なし

✓ 進捗管理はアナログ...

どこまで講座を受けたかを生徒ごとに可視化し、紙で貼り出していた。重要性は認識しつつ、工数がかかっていた。

A	●	●			●
B		●	●	●	
C	●	●			●

進捗管理の手間

After

スタディサプリ導入

✓ 進捗管理 & 苦手箇所の特定もデジタルで容易に！

運営負担の軽減により、生徒への伴走強化など、本来かけなかった業務に時間を割けるように。



- プリント不要
- 採点もボタンで一発
- 進捗管理/弱点把握もひと目で

01



スタディサプリを導入することで運用負担が増えるのでは？
手間の意味でも、おカネの意味でも気になります。



導入済みの多くの塾から、「導入前よりも日々の運用負担を軽減できた」という声が。コストもそれぞれのやり方で抑えているようです。



2)コストを抑える工夫

塾にタブレット端末を常設したり、新たにインターネット環境を整えられたりする場合にはその分コストが発生しますが、生徒が持つスマートフォンなどで運用する場合はそのコストはかかりません。例えば、「最初にはまず宿題としてスタディサプリを取り入れよう」と決めて、生徒には自宅で自分のスマートフォンでスタディサプリを勉強してもらうというのも方法の一つです。

※スタディサプリの月額利用料は発生します。

※スタディサプリの月額利用料の生徒からの徴収や料金設定についてはサービス紹介サイトをご参照ください。

02



スタディサプリ利用料の分、今までより授業料を上げることになると、生徒や保護者からネガティブな反応をされないか心配です。

金額設定は塾の裁量次第ですが、もしUPする場合には、**スタサプ利用に際しての塾ならではのきめ細かいフォロー内容**をご説明頂くと良いようです。



先行導入されている塾の事例に基づくと、従来よりも月謝等の料金をUPする場合は以下を留意して保護者様等へご案内されると、ご理解いただけることが多いようです。

【ポイント1】より効果的な学習教材の一つとして導入することを説明

例えば紙のテキストで良いものがあれば入れるように、効率よくインプット～アウトプットまで学習できる教材の一つとしてスタディサプリを入れることを説明するのが良いようです。

【ポイント2】塾だからこそできるフォローを説明

「良いのは分かりました。でもそれなら家で個人契約でやります」「もう学校でスタディサプリを導入しているみたいだから」と言われてしまったら・・・？ そんなときは貴塾がスタディサプリを使ってどう生徒さんをフォローするか、『塾だからこそその強み』を説明しましょう。

▼具体トーク例

- ・デジタルにお子様の得意・苦手を見るだけでなく、あくまで塾の対面でのやりとりが根幹にあります。塾の様子とスタディサプリでの取り組み、両方を加味して生徒個々人に合わせた学習カリキュラムを組んでいきます。
- ・苦手箇所がスピーディに分かるので、それに応じて塾の授業内容も柔軟に変更。塾だからこそ、お子様の苦手克服をトータルで細かくサポートできます。
- ・宿題提出をしていない場合はメッセージ機能で、塾に来ていない日でも声掛け。学習習慣を今まで以上に身につけさせます。

塾だからこそその強みをしっかり伝えることでご理解いただけるケースが多いので、ぜひ留意してご案内してみてください。

※注意：スタディサプリの利用料金分を生徒の授業料等に記載するか否かなど、塾でのご料金設定に関しては各塾の裁量にお任せしており、リクルートからその金額設定に関与することは行っていません。あくまで一例としてご料金をアップされる場合をご紹介します。

▼スタディサプリ導入済みの塾での料金設定例

料金設定事例

A塾	受講料に含む形にし、追加での料金徴収はなし
B塾	講師のフォロー工数やスタディサプリのPDFテキストの印刷費等を加味し、最低限の価格を設定
C塾	受講料とは別に、もともと教材費として諸経費の設定あり。今回追加徴収はせず、その中で吸収する形にした



こう設定すれば正解！というのではなく、本当に塾の状況によって様々であることが分かりますね。授業料をUPする場合は「塾だからこそできるフォロー」を軸に保護者の方へ説明するのが重要なようです！

03

Q

現在の運営スタイルは大きく変えたくありません。
今のスタイルを維持しつつ導入できませんか？

A

『部分的』にスタディサプリを導入するだけで、
塾運営の負担を減らしつつ教育の質を上げている事例もございます！



既にスタディサプリを導入されている一英塾では、授業は講師が教える既存スタイルを維持しつつ、宿題でスタディサプリを活用しています。

宿題メインで活用することで、

<塾目線でのメリット>

- 家庭での学習状況は生徒からの口頭説明で把握していたが、スタディサプリの管理画面から学習時間や進捗状況を正確に把握できるように！
- 各生徒の苦手箇所の特定に一定の時間がかかっていたが、単元テストの正答率から迅速に特定できるように！

<生徒目線でのメリット>

- 紙教材のみでは授業内で分かったはずの問題も家では解けなくなることがあったが、講義動画があることで一人でも改めて理解を深めることができるように！

ICT教材はメインの授業で導入しなければいけないのか…？と思われがちですが、『宿題だけ』など一部分からの導入でも塾運営の負担軽減や教育の質向上など嬉しい成果が期待できます。さまざまな運営スタイルがあると思いますので、「自分の塾の場合どうすれば良いのか？」と迷うことがございましたらお気軽にご相談くださいね。

▼スタディサプリ導入前後イメージ（一英塾）

	Before ICT教材なし	After スタディサプリ導入
生徒	授業 紙＋先生でインプット 宿題 復習では紙教材のみ ✓ 家に帰り宿題を解く際、ひとりになると解けたはずの問題が分からなくなる生徒も...	授業 紙＋先生でインプット 宿題 紙＋スタサブ講義動画 ✓ スタサブで解説を見られるから一人でも理解が深まる！ (例：数学の場合、途中式の過程を確認)
先生	✓ そばで見ているだけでは弱点把握に時間がかかる ✓ 正答率や学習時間の可視化ができない (紙ベース、口頭ベースの自己申告)	デジタルでひと目でわかるので生徒にとって最適なオーダーメイドを実現！ ✓ レベルに合った宿題配信 ✓ 苦手箇所や進捗状況は一目で分かる

04



ICT教材を生徒や保護者が受け入れてくれるのか不安…
保護者への説明はどのようにしたらいいのでしょうか？

説明の際に**伝え方のポイント**を押さえることで
生徒や保護者の方にもご納得いただけるようです！



実際にスタディサブリを導入した塾では、直接口頭や手紙・メールなど説明手法は多岐に渡ります。

大切なのは伝え方で、以下のように『塾ならではの』スタディサブリ活用ポイントを押さえることで、保護者や生徒の方々にもご納得いただけたようです。

<実際に導入した塾の事例>

●CASE1：ユニバーハイスクール

あえて「**講義動画**」ということは**アピールせず**、塾全体の指導や面倒見の良さの中に講義動画が**含まれるという位置付け**で説明

スタディサブリは講義動画だけではなく、「確認テスト」や「学習管理システム」なども含めた総合的な学習システムです。あくまで、塾全体の指導や面倒見の良さの中に講義動画が含まれるという位置付けで保護者に伝えることで、納得いただけたようです。

●CASE2：一英塾

「あくまでも講師が教えるスタイルはそのまま。**プラスアルファの教材としてスタディサブリ**」という伝え方
「**講義動画がメインになる**」と伝えると誤解を生みかねないため、授業を行うのはあくまで講師であって、家庭での学習定着を効率よく進められる**プラスアルファの教材として『スタディサブリ』を導入する**ということを説明。

「塾ならではの細やかさや個別フォローという価値は変わらず、むしろ一層強化する」という意図を丁寧に伝えることが、生徒や保護者への理解につながるようです。

▼生徒や保護者のスタディサブリ導入時のリアクション

スタディサブリに対する生徒や保護者のリアクション (スタディサブリ導入塾の事例より)

生徒

動画に対する評判の声、続々。

「講義動画の長さがちょうどいい」
「くり返し視聴できるので、英文が読めるようになった」
「無理なく学習のサイクルを回せる」…等の声が。

保護者

馴染みあるサービスで導入もスムーズに！

もともと学校やご家庭でスタディサブリを使っていた生徒が多かったり、サービスの知名度が高いこともあり、特段悪いリアクションもなく、自然に受け入れられているようです。

05



ICT教材を導入した活用イメージがわからない…。
実際にICT教材を導入した活用事例を知りたい！



全面的に活用しているケースもありますが、**不足部分（授業レベルや科目）を補完することで教育の質を上げている事例もごぞいます！**



既にスタディサプリを導入いただいているユニバーハイスクールでは、不足していた地・歴・公民の受験対策向けコンテンツをカバーするために、学習レベルや科目の網羅性が高いスタディサプリを活用しています。

スタディサプリを活用することで、

- 社会科目（地・歴・公民）ではこれまで授業内容の定着コンテンツをメインでカバーしていたが、共通テスト対策や志望校対策といった受験対策までカバーできるように！
- 入塾時の生徒の学力は本人とのディスカッションをもとに把握するため時間がかかっていたが、単元テストを用いて定量的かつスピーディに学力を把握できるように！

また、『15分程度の講義動画×確認テスト』のsmallステップで、“進んでいる感”を実感しやすい仕組みのため、高校2年生の10月時点で、数学Ⅲ・数学Cまで先取り学習をスタートさせる生徒もでてきたそうです。

他にも活用事例を知りたい方は本サイトから事例をご確認くださいね。

▼スタディサプリ導入前後イメージ（ユニバーハイスクール）

Before		After	
ICT教材あり（動画教材）		スタディサプリ追加導入	
カバーレベル		カバーレベル	
高1・2・3向けコンテンツ	受験向けコンテンツ (高3夏以降メイン利用)	高1・2・3向けコンテンツ	受験向けコンテンツ (高3夏以降メイン利用)
英語		英語	
数学		数学	
国語		国語	
地理		地理	
歴史		歴史	
公民		公民	
物理		物理	
生物		生物	
化学		化学	
カバー範囲		カバー範囲	
ない！ 整側で別途紙教材などから抜粋・用意			
✓ ベースはカバーできており満足していたものの、受験レベルまでは充足していなかったり、対応していない科目もあった。		✓ レベルは受験レベルまで、科目は全てカバーでき網羅度が格段にUP！ ✓ 動画の長さも1本あたり約15分と短く、インプットと演習というサイクルをどんどん回せるように。	

06

Q

オンライン授業って本当にうまくいくのでしょうか？
“生の人間がやる授業”にこだわりたいんですよね。

A

生の授業ならではの価値は大いにありますよね！
先生による生の授業はそのままスタディサプリを取り入れた事例があるんです。



スタディサプリの講義動画は“神授業”としてご好評を頂いていますが、必ずしもそれを使って生徒さんに指導しなくてはいけない、ということはありません。先生による生の授業はそのままに、エッセンスとしてスタディサプリをうまく取り入れた郡山俊英スクール（福島県郡山市）橋本先生にインタビューしました。

——郡山俊英スクール様での、スタディサプリの使い方を教えてください。

「あくまで当塾は生の講師がやる授業にこだわっています。流れとしてはこうです。

- ①授業前に講師がスタディサプリの講義動画を見て予習し、指導のポイントを押さえる
- ②授業当日、そのポイントを踏襲した生の授業を講師が実演。生徒の反応を見ながら多少アレンジすることはあるが、基本はスタディサプリの指導ポイントを踏まえて授業を行う
- ③宿題として、スタディサプリの同じ箇所から講義動画と確認テストを配信
こんな感じです。」

スタディサプリ導入

- ✓ 授業～宿題までスタサプを基軸に。
指導のポイントが常に一貫しているため
「学びに連続性がある状態」を創出。生徒も理解が進み成績UP！

スタサプの講義動画を
講師が予習

講義動画のポイントを踏襲した
授業を講師が実施

同じ箇所を
スタサプで宿題配信

——なるほど。生徒さんからすると授業で先生が説明していた内容と、宿題で見るスタディサプリの講義動画の指導ポイントが一致しているので、理解が深まりそうですね。

「そうなんです。生徒も2回目のインプットになるので、特に問題がなければ1.5倍速で再生したりして効率的に勉強できているようです。生徒からは『橋本先生と同じことをスタディサプリの〇〇先生も言っていた』と言われることも（笑）。本当は逆なんですけどね」

——生の授業の価値について思われることはありますか？

「生徒の反応などを見つつ、リアルライブでやれるのが生の授業の価値だと思います。その価値はそのままに、スタディサプリの良さも取り入れて授業～宿題までのトータルの流れを作ったという形です」

——お話ありがとうございました。

講義動画を毎回予習するのは大変かも・・・という場合、スタディサプリにはPDFのテキストが各講義に付いているので、ざっとそれに目を通して授業に生かすというのもありかもしれませんね。

また、スタディサプリの動画を復習や2回目のインプット用に使うというのは、他の塾でも多く見られる活用方法です。「うちの塾だったらどうかな？」とぜひ活用方法をイメージしてみてくださいね。



私も長年塾の講師をやっていますが、やっぱり教えるのが好きなんです。スタディサブリを入れることでモチベーションが下がってしまわないか心配です…。

生徒の特性を見極め寄り添うコーチングは、塾の先生だからこそできること。丸付けなどの運用作業を減らせる分、そこに時間を割いて頂けます。



スタディサブリを入れることでお役立ていただける事柄はいくつかあります。

プロ予備校講師による講義動画や演習問題で、効率よく学習するお手伝いができますし、生徒ごとの学習理解度や進捗を即座に可視化することも可能です。

しかし、言ってしまうとスタディサブリができるのはそこまでの話。

生徒個々人に向き合い、常に状況を一番知っているのは塾の先生方です。

例えば生徒の学習の進みがいつもより遅かったら、どうしたの？何かあった？と声掛けができるのは先生だけです。そこで「文化祭の準備が忙しくて」「部活の大会が近くて」など、背景にある事情を汲み取った上で差配できるのは塾の先生だからこそ。また、蓄積したデータを踏まえ、志望校合格に向けて次に取り組むべき課題は何か適切にアドバイスできるのも塾の先生だからこそ。

先行導入された一英塾（千葉県佐倉市）の板東先生も「スタディサブリを導入したことで細かい運用負荷を減らせて、本来時間を割きたかった生徒のコーチングに使えるようになった」とお話しされていました。

スタディサブリを入れることで丸付けや生徒の学習管理など作業時間の軽減にはお役立て頂けるかと思います。そういった分をぜひ今まで以上に生徒に寄り添い、より密度の高い指導ができるよう時間を使っていただければと思います。



すでに導入している学習系のICT教材があるのですが、それらとの違いがイマイチ分かりません。

弱点把握→学習状況の可視化→弱点克服のサイクルを回す機能をオールインワンで提供します！



●弱点把握→学習状況の可視化→弱点克服のサイクルを回し、生徒の学力を向上

弱点把握では『単元テスト』で生徒一人ひとりの苦手を細かく把握。塾側では『学習管理システム』で定着度合いや理解度を定量で見ることができます。弱点の単元に連動した講義動画を配信。その後に単元・項目単位の『確認問題』で克服できたかを確認することができます。

●講義動画：全教科、全学年、全レベル、すべて見放題

動画の提供範囲は小1～高3まで最大6教科19科目に対応。受験対策や定期テスト対策、苦手克服など、生徒の目的に応じて自由に受講することができます。

前の学年に遡って、基礎から学び直すことも可能です。

レベルもベーシックなものから受験対策に使えるハイレベルな問題まで用意。スタディサプリを導入したある塾では「地歴・公民などは受験対策コンテンツが不足しており、そこをカバーするためにスタディサプリを導入した」というケースもありました。

●価格：初期費用なし、生徒数に応じた課金体系

ICT教材の導入にあたっては初期費用（イニシャルコスト）に高額な費用がかかることもあり導入を見送られるケースも多いと思います。スタディサプリでは初期費用はいっさいかからず、月額2,178円(税込)×生徒数でお使いいただくことができます。

▼スタディサプリと他社の違い

	スタディサプリ	A 社	B 社	C 社	D 社
学力把握テスト	◎ 単元テストによる細かい弱点把握	△	×	×	×
学習管理システム	◎ 理解度が見える管理システム	△	○	△	△
確認問題	◎ 単元・項目単位の確認問題	◎	×	○	×
講義動画	◎ 単元・項目単位の良質な講義動画	×	○	△	○
提供範囲	◎ 小1～高3 最大6教科19科目	△	△	×	△
価格 生徒1人あたり月額	○ 2,178円(税込)	×	△	×	△



※本資料に記載されている情報は、2023年6月21日時点の情報です。サービス内容等については変更になる場合がございますので、詳しくはスタディサプリのホームページにてご確認ください。
※掲載している塾の情報は、すべて取材した時点でのものになります。